



ひだのたくみ
飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち
メイド・バイ飛驒高山認証



市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合致する独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」に認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

飛驒高山ブランドコンセプト

「飛驒高山の風土と飛驒人の暮らしが生み出す本物 それが飛驒高山ブランド」

No.8 飛驒春慶

飛驒春慶連合協同組合

時を重ねるごとに次第に漆が透け、美しい木目が浮き出てくる国指定伝統的工芸品「飛驒春慶」。

― 大切に片付けておくのではなく、日常で気軽に使ってほしい ―

そう語るのは、飛驒春慶連合協同組合の理事長を務める福寿良太さん。店内には、盆や花卉、弁当箱などさまざまな用途の漆器が並びます。飛驒春慶のはじまりは、今からおよそ400年前の江戸時代初期に遡ります。

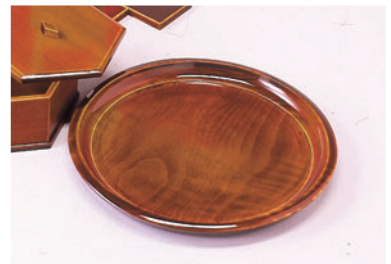
高山城下で神社仏閣の造営にあたった名工高橋喜左衛門が、たまたま打ち割ったサワラ材の木目の美しさに心打たれ、その板で蛤盆を作り、第二代高山城主金森可重の子である重近(金森宗和)に献上したところ、重近もその木目に感動し、御用塗師の成田三右衛門に木目の美しさを生かして漆を塗るよう命じました。三右衛門は、透き漆で塗り上げたところ、その色目が加藤景正の名陶「飛春慶の茶人」に似通っていたことから「春慶塗」と名付けられました。

こうして生まれた飛驒春慶は、大正から昭和初期には、線と円の近代的なフォルムが生み出され、立体的な美しさを持つ伝統的工芸品となりました。

― 高価であっても手に入れたいと思われよう、品質に磨きをかけよう一層ブランド力を向上させていきたい ―

近年では、訪れた欧米人が木目の美しさに魅了され購入していくようになりました。

古来より木材を扱うことに優れていた飛驒匠たちの感性から生まれ、木地師と塗師の技が融合してその美しさを確立した飛驒春慶は、匠の国飛驒高山を象徴するブランド産品として、この先も艶やかに輝き続けます。



広報 市長だより
97

金森氏が緑の相互応援協定

高山市長 國島芳明

高山市と福井県大野市、滋賀県守山市の3市は2月17日、災害時における対応を強化するため、災害時相互応援協定を締結しました。

高山の初代藩主である金森長近公が守山市で幼少く青年期を過ごし、また、越前大野城を築城した縁から交流を進める中で、今回の協定締結に至りました。

本協定により、災害が発生した場合は応急復旧に必要な物資や資機材の提供、被災者の受け入れなどを連携して行うこととなりました。引き続き、市民の皆様が安全に安心して暮らすことのできる公助の充実に努めてまいります。

11日には、東日本大震災から9年目を迎えます。市民の皆様には、大震災の経験と教訓を心に深く刻み、日々の防災への備えにご理解とご協力をお願いします。



写真右から
宮本 和宏 守山市長
石山 志保 大野市長

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日



3月10日(火)

午後1時30分～4時15分

※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●36-2060

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル 検索